

## 令和元年度第3回埼玉県国民健康保険運営協議会 議事概要

- ・ 日 時 令和2年2月6日(木) 午後4時～午後5時15分
- ・ 場 所 埼玉会館 4A会議室
- ・ 出席委員 11名

### 【被保険者代表委員】

市村委員、柿沼委員、金子委員、堀江委員

### 【保険医又は保険薬剤師代表委員】

廣澤委員、中村(勝)委員、齊田委員

### 【公益代表委員】

秋山委員、伊藤委員

### 【被用者保険等保険者代表委員】

柴田委員、中村(史)委員

## 1 議事(1) 令和2年度国民健康保険事業費納付金等の本算定について

### <事務局>

- ・ 資料1により、国民健康保険事業費納付金等の本算定の結果について説明

### 【主な質疑・意見】

- ・ 2018(平成30)年度との比較ではどうなっているか。今後はどのように推移すると考えているか。
- ・ 構造的な黒字体質になっていない状況で保険税率を引き下げることが、後々にツケを回すことになるので、県はしっかりと指導していただきたい。

## 2 議事(2) 次期埼玉県国民健康保険運営方針の策定について

### <事務局>

- ・ 資料2-1により、次期運営方針の策定に向けた検討状況について説明
- ・ 資料2-2により、次期運営方針の策定スケジュールと運営協議会の開催予定について説明

### 【主な質疑・意見】

- ・ 保険税水準の統一に向けて賦課方式を2方式に統一していくということだが、4方式の市町村もまだある中で、市町村の感触はどうか。
- ・ なるべく早く資産割をなくし、2方式への統一をお願いしたい。
- ・ 保険税水準の統一を目指すということについて、どういう動機や理由なのかをお聞きしたい。
- ・ 国保の負担水準は健保組合や協会けんぽと比べて高く、保険税水準の統一によって負担がさらに増えるということがあってはならない。負担水準の格差を縮めていく努力も併せて行っていく必要があると考える。

- ・ 被保険者証と高齢受給者証の一体化及びオンライン資格確認の導入について、来年3月からマイナンバーカードが保険証として利用できるようになるが、それとの関連性をどのように整理しているか。
- ・ オンライン資格確認については、マイナンバーカードの普及が進まないデメリットが乏しい。また、医療機関の負担を考慮し改善をお願いしたい。

### 3 議事（3）その他

#### <事務局>

- ・ 資料3により、来年度の運営協議会のスケジュールと審議（報告）事項の予定について説明

#### 【主な質疑・意見】

- ・ 医療費適正化の効果を測る上で即効性が高いのがジェネリック医薬品の使用率だが、市町村ではなく国保連が一括して行っているため、市町村のデータ把握が不十分という実態があるようだ。定期的なデータの提供、把握が必要である。
- ・ 糖尿病性腎症重症化予防対策について、医療費をどのくらい削減できたかというのを数値化することはできないか。